



令和5年7月20日
小田原市立東富水幼稚園
文責 久保寺 佳香

じめじめとしたうっとうしい時期が過ぎ、7月に入ってから猛暑続きの毎日です。

さんさんと照り輝く太陽の光は子どもたちの心を開放的にするようで、園庭では水鉄砲やプール遊びが盛り上がり、子どもたちの笑い声が響いていました。

はやいもので、入園・進級してから4ヶ月が経とうとしています。初めての集団生活に戸惑いを見せていたひよこ組さんは、幼稚園生活の流れをしっかりと覚え、自分でできることに意欲的に取り組んだり、「いれて」「いいよ」「かして」など友達と仲良く遊ぶためのルールも少しずつ身につけたりしながら、今日は何をしようかと目をキラキラと輝かせています。

憧れの年長組になったすみれ組さんは、友達と思いを伝え合いながら、遊びを創り出すおもしろさを味わったり、進んで当番活動に取り組んだり、年下のひよこ組に優しく接したりなど、年長組としての自覚が少しずつ芽生えてきたように感じます。

ときには、自分の気持ちを上手に伝えられずに、涙を見せたりけんかになったり、もやもやいらいらしたりすることもあるようですが、それも大切な経験のひとつです。自分の気持ちをどのように表現したらわかってもらえるのかを考えたり、相手の気持ちを感じ取ったりしながら、共に成長していきます。これからも、子どもたちの伸びゆく姿を、ゆったりと見守ってあげたいですね。



小学校の中庭でヤゴを発見！思わず図鑑を広げて色や形を確かめます。

東富水幼稚園は、
令和5年度の教育目標を

『認め合い育ち合う子どもの育成』とし、

- ★自ら関わることを楽しめる子
- ★粘り強く頑張れる子
- ★自分も友達も大切にできる子

を目指し指導にあたります。

幼児期に“太くて丈夫な根っこ” を育てましょう！

幼児期は人間としての基礎となる、木で例えると“根っこ”の部分が育つ時期です。

幼稚園では、将来社会人として立派に生きていくための基礎を培っています。

緑の葉っぱをたくさんつけた豊かな木になるために、幼児期には目に見えない根っこの部分をしっかりと育てることが大切です。



遊びの中には学びがいっぱい！

幼児は、遊びや生活の中で、自分がやりたいことを見つけると、時間を忘れてしまうくらいに夢中になって遊びます。その中で、感性を豊かにし、たくさんを感じ、考え、全身を使いながら様々なことを身に付けています。そして、自分たちができるようになったことを使いながら、友達と一緒に繰り返し試したり、工夫したり、表現したりし、確かな力を培っています。それが、“**小学校への学びの基礎・土台**” になっていきます。

小さなお店屋さん

ままごと遊びをしていたすみれ組さんが、“お店屋さんをしよう”と、焼きそばや飲み物など、何日もかけて準備をし、お店屋さんを開店しました。とてもおいしそうだったので、ちょっといただくことにしました。すると、「こちらどうぞ」「何になさいますか」「少々お待ちください」など、まるで本物の店員さんのようにもてなしてくれます。トレーやお箸の扱いも丁寧で、心地よい時間を過ごすことができました。



ごっこ遊びで学ぶこと

一人一人が、自分の思いや考えを自由に様々な方法で表現し、想像の世界を繰り広げたり、憧れの人になって、現実の世界を模倣したりしながら、再現を楽しみます。そのために、自分が見たものをどのように形にしたらよいかじっくりと考え、素材を選び、試行錯誤しながら形にしていきます。お客さんと呼ぶために、看板やメニューもつくります。ひらがな表を見ながら一文字一文字丁寧に書く経験が、文字への関心へと繋がっています。時間はかかりますが、子どもたちは目的をもって様々なことに挑戦したり、友達と相談したりしながら、たくさんの力を身につけています。



「にゃ～お～」 「にゃおにゃお」 ネコ語で話をする2人。なりきっています。



お客さんはひよこ組。「お金はいらないよ」って、すみれ組さん優しいね。

13日には、家の人の前で、自分のなりたいものに変身しながら楽しんできたごっこ遊びの衣装を着て、素敵なショーを披露してくれました。今までがんばってきたことをたくさん褒めてもらったことが、子どもたちの達成感や満足感となり、大きな自信へと繋がっています。

さて、次はどんな遊びが展開されるのか、とても楽しみです。

足湯をつくるぞ！

砂場遊びで学ぶこと

園庭に出ると、ひよこ組は真っ先に砂場に飛んでいきます。さらさら、どろどろ、べちゃべちゃ…など、砂や水の感触を味わいながら開放感に浸って遊んでいます。入園当初は、ものの取り合いでけんかになることもありましたが、今では、「穴を掘るね」「水をくんでくるよ」「水流してもいい？」などと、互いに声を掛け合いながら役割分担をして、同じイメージで遊べるようになってきました。友達と力を合わせて遊ぶ楽しさを、全身で味わっています。



足湯の完成！ 「どう？気持ちいいでしょう」「うん、最高！」



「いいもの見つけたよ」バケツより早く水がくめそうだね。

幼児教育は環境を通して行う教育です！

幼児期は、生活の中で自分の興味に基づいた直接的・具体的な体験を通して様々なことを身につけていきます。そのため、幼稚園では、子どもたちが「おもしろそう」と自ら関わりたいくなるような魅力ある環境を工夫し、遊びを展開できるようにしています。また、「なるほど」「そうだったんだ」など、気付きや発見が促され、友達との関わりが生まれるよう、十分な時間や空間を保障しています。

ツマグロヒョウモンとの出会い

自然体験から学ぶこと

プランターの中から、『真っ黒な体にオレンジ色の線が入った幼虫』が、出てきました。「うわあ、毛虫だ」と逃げようとする子もいましたが、「すごい幼虫を見つけたぞ！」「ツマグロヒョウモンだ」と昆虫好きな子どもたちはあっという間に取り囲み、飼育ケースでの観察が始まりました。

登園してくると、真っ先に飼育ケースを覗き、「いつさなぎになるのか」と幼虫がさなぎになるのを心待ちにする子、昆虫図鑑を広げ本物と図鑑を見比べながら観察する子、「walking walking」と指でその動きを真似する子もいます。どの子も関心をもって、教師と共に適切な環境を整えながら観察を続けました。



16匹も家で飼っているという昆虫博士は、毎日のようにパンジーのプランターをのぞき、幼虫を見つけることに夢中になりました。見つけると、慣れない割りばしを使ってそっとつまみ、幼虫をつぶさないように飼育ケースに入れていきます。素晴らしい集中力です。

一週間もたったころでしょうか。幼虫は、“きらきら輝くさなぎ”となり、登園してきた子どもたちを驚かせました。

それから数日後、「さなぎが羽化していきま

せが職員室にも届きました。カメラを手に慌てて出向いて行くと、ちょうど出てくるころでした。まだ羽が白っぽく濡なっています。子どもたちも息をのんで見ている。感動の場面に立ち会うことができました。



す」という嬉しい知らせ

ど、さなぎが殻を破られていて、少ししわに

ました。生命の誕生で

すると、一人の子がさなぎの下にある“赤い

「これって血なの？」ととても心配そうです。昆虫博士は冷静に、「(さなぎが)蝶になるときにでるんだよ」と、自分の知っている知識を友達に教えてくれました。子どもたちの観察力には、本当に驚かされます。

水”に気付きました。

自然は、子どもたちにとって好奇心や探究心をかき立てる不思議さに満ち溢れています。そして、子どもたちは、全身にアンテナを張り巡らせ、五感を使って自然を感じ取っています。子どもたちの心をより豊かに育てるためにも、自然にふれる大切な機会を逃さず、子どもたちの心に寄り添い、感動を共有しながら、遊びや生活の中に取り入れていきたいと思えます。そして、生命の営みや自然の不思議さを、実体験の中で学んでいけるよう、環境を整えていきたいと考えています。



見て！頭にとまったよ！

あいさつは心をつなぐ魔法の言葉

心を通わせる大切さ

正門で子どもたちを迎え入れていると、しっかりと立ち止まり、笑顔で元気よくあいさつをしてくれる子が増えました。

「園長先生、ブロック（塀）にカタツムリがついてたよ」「ピンクの花が咲いてたよ」「転んじゃったけど泣かなかった」など、自分で見つけたことやがんばったことを一生懸命に伝えてくれます。とても嬉しいことです。

もう一つ嬉しいことは、まだ幼稚園に入る前のちびっ子が、お兄さんやお姉さんのまねをして、おかあさんと一緒に朝のあいさつをしてくれることです。小さいながらもきちんと立って、「おはようございます」と丁寧にお辞儀をしてくれます。（my car の上からのこともあります♡）

“**学びはまねび**”です。大好きな人のまねをしながら、いろいろなことを覚えていくのですね。



朝のあいさつはひとつの習慣ですが、先日の防犯教室では、講師の方より

「**大きな声であいさつができる元気な子は誘拐されにくい**」というお話がありました。大きな声が出せると、相手も手が出せないということです。自分の身を守るためにも、大きな声であいさつをする習慣を大切にしていきましょう。



ボランティアのご協力をありがとうございました！

“できるときにできることを！”を合い言葉に、ボランティア活動にもたくさんの方のご協力をいただきました。特に、今年は、プール遊び後の片付け作業をお願いしたところ、保護者の皆さまに快く受け止めていただき、次の日のためにびっしょりになって活動していただいたこと、本当に感謝しています。暑い中をありがとうございました。

また、絵本の読み聞かせボランティアも再開しました。保護者の方も楽しみながらも取り組んでくださっています。子どもたちも楽しみにしています。まだまだ募集中です。第2学期もよろしくお願いします！

楽しい夏休みを過ごすために…

“おだわらっ子の約束”のひとつに『**早寝早起きして朝ごはんを食べます**』という項目があります。

子どもたちの心身の健康のためには、“早寝・早起き・朝ごはん”の習慣を身につけること、思い切り体を動かして遊ぶこと、十分な睡眠をとることが大切だといわれています。特に、“成長ホルモン”は、夜10時から夜中2時にたくさん流れるために、その時間に熟睡できるように環境を整えてあげることが大切だということです。美容のためにもいいですよ！



東富水小 濱島教頭先生

13日には、東富水小学校の濱島教頭先生にお越しいただき、『**入学までにできるといいな**』というお話をうかがいました。「保護者の方が入学するときに不安に思っていたことは、子どもたちも同じように不安に思います。その不安を少しでも取り除いてあげられるよう配慮していただければ、入学が楽しいものになるのではないのでしょうか」というお話が印象的でした。入学直前になって「一年生になるんだから…」と言われても、子どもたちは戸惑います。教頭先生のお話を参考に、お子さんと一緒に時間をかけて生活の見直しをしていしましょう。（資料は、コドモン資料室に入っています）

おかげさまで、第1学期を無事に終えることができました。多くのご協力に感謝いたします。これから夏休みに入り、今までとは違った生活の流れになります。規則正しい生活に心掛け、健康な生活を過ごしてください。皆様にとって、有意義な夏休みになりますように！